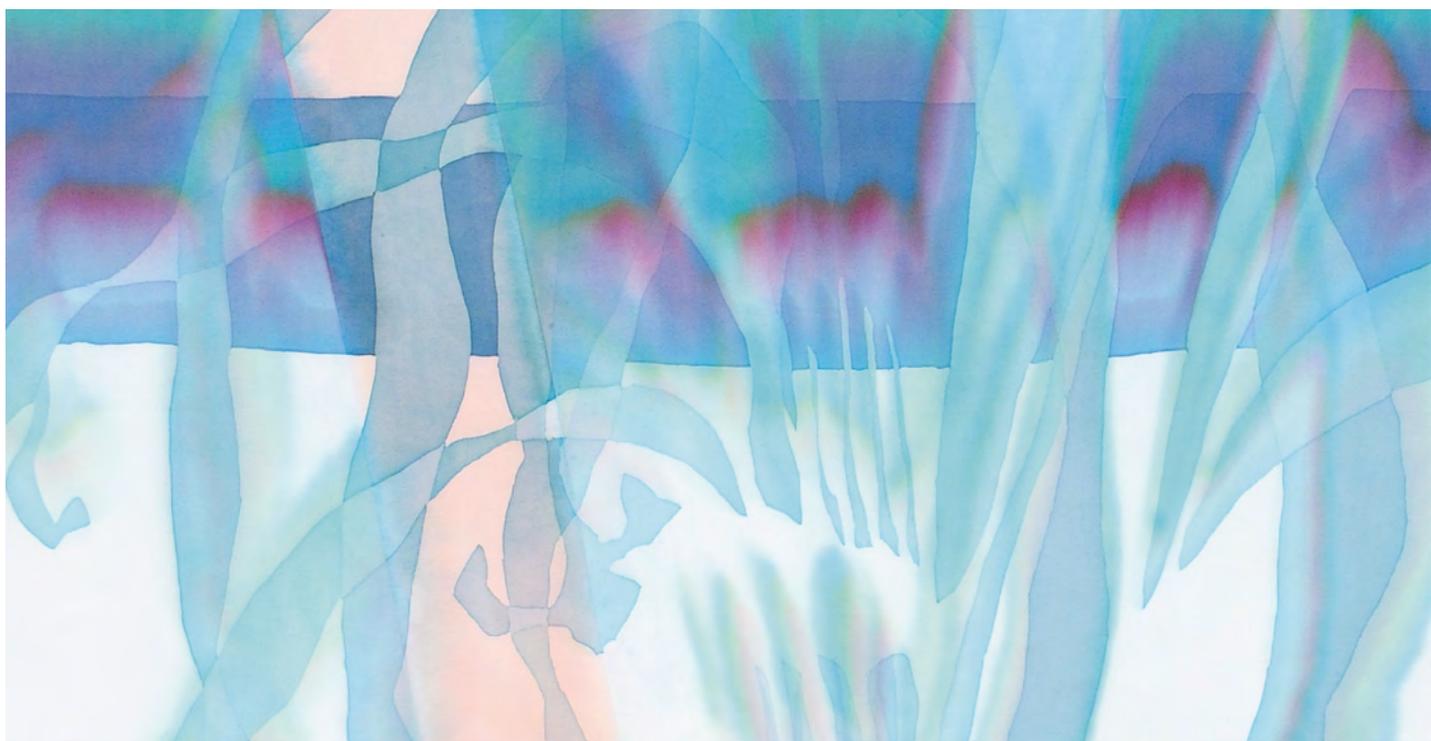


時を泳ぐ人

むらたちひろ

murata chihiro exhibition

2014年7月15日[火] — 7月27日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像01】
むらたちひろ《unchained times #01》(部分)
120×180cm 木綿・染料・パネル
2013

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、様々なクリエイション活動へのサポートの一環として、広く展覧会企画を公募し、審査により採択された3名(組)のプランを実施するコンペティション「Gallery PARC Art Competition 2014」に取り組んでいます。2013年末から公募を開始し、応募された44のプランから、審査員・平田剛志(京都国立近代美術館研究補佐員)、山本麻友美(京都芸術センタープログラムディレクター)の2名を交えた厳正な審査を経て、3つのプランを採択することとなりました。

本シリーズ企画展は、採択された薬師川千晴、むらたちひろ、松本絢子・山城優摩・森川穂の3名(組)による展覧会を2014年7月から8月にかけて「Gallery PARC Art Competition 2014」として3連続で開催するもので、本展はその第二弾となります。

むらたちひろ(1986年・京都府生まれ)は、2011年に京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻修士課程修了の後、京都を中心に現在まで定期的に発表を続けています。これまで一貫して染織を専攻しているむらたは、「布」という素材を扱いながらも、その注目は常に「絵画表現」にあるといえます。

むらたは「目に見える景色は、変化し続ける世界のごく一部の瞬間を切り取ったものにすぎない」として、一旦は布に染めた絵(絵画)を再び水によって滲ませ、そこに現われたカタチを定めない流動的な世界を再び布に写し取ります。そのプロセスは現実の世界を切り取りながら、そこにしみや揺らぎによる偶然や必然、むらたの夢想や潜在意識すらもが縋い交ぜとなったイメージを描き出すことで、明確なカタチを持たないながらも、どこか・何かに繋がるかのような予感を鑑賞者に覚えさせます。

また、それらは「布」としてコートフックに掛けられたり、カーテンとして吊られたり、作品はあたかも「風景の一部」として空間に存在します。この「布のある風景」は、作品(絵画)にどこまで物としての存在感を与えることができるかという試みでもあり、作品に「背景」をつくり出すことで、「世界の一部を切り取ったもの=絵画」としての構造を作品として提示する試みでもあります。

本展「時を泳ぐ人」は、おもに「水」をテーマに制作した染織(絵画)作品と空間(世界)との間にあって、むらたの「染織作家として絵画表現の可能性を考える」とするプロセスに位置づけられるとともに、「現実のなかにまじっている夢や潜在意識の存在を受け入れれば、『時を泳ぐ』こともごく当たり前できて、それは受け入れがたい現実と直面したときの救いになると思う」として、むらた(私)と世界との距離や位置関係を探る試みでもあるといえます。

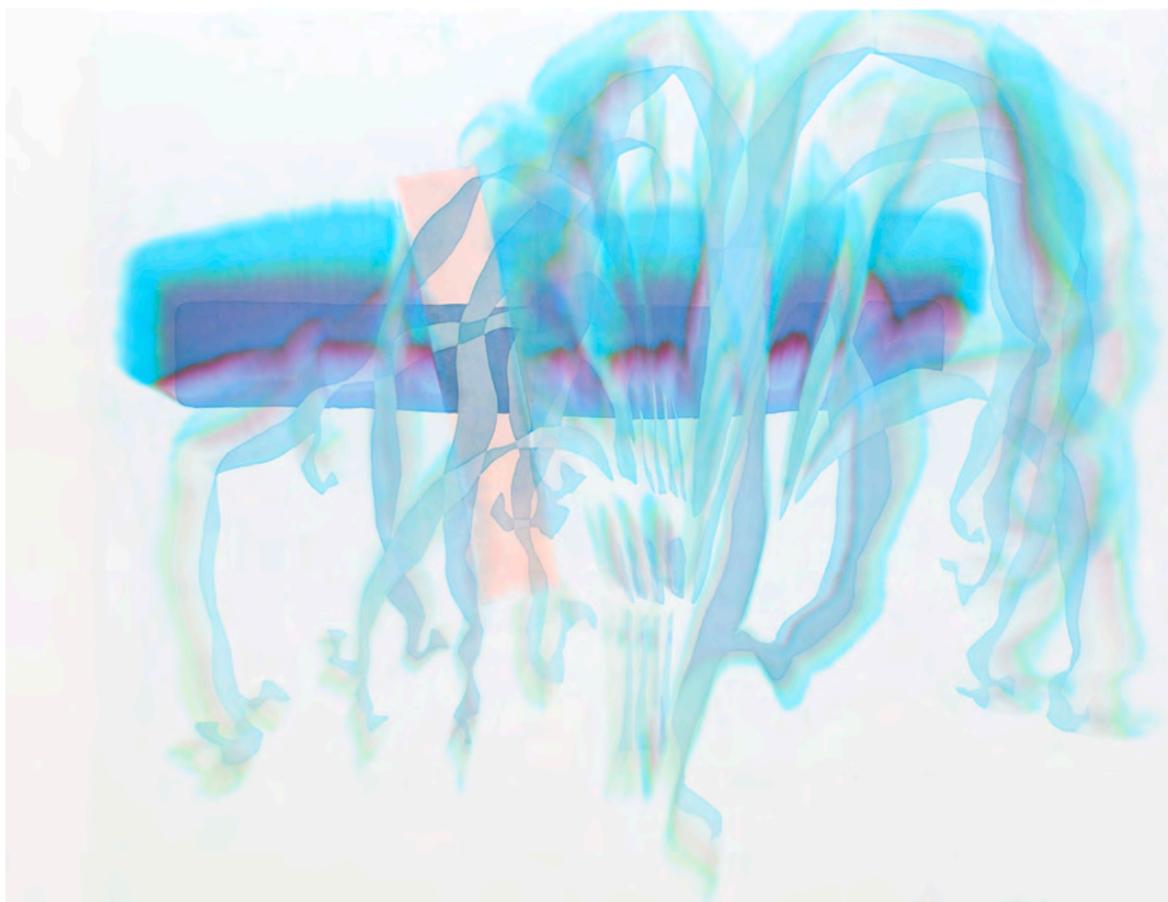
Gallery PARC Art Competition 2014 #02となる本展「時を泳ぐ人:むらたちひろ murata chihiro exhibition」では、新作を中心に、パルクの空間を活かしたとした展示により、むらたの染織・絵画をめぐる思考をなぞりながらも、そこから次への展開を模索します。

時を泳ぐ人

むらたちひろ

murata chihiro exhibition

2014年7月15日[火] — 7月27日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像02】
むらたちひろ
《un chained times #01》
120×180cm
木綿・染料・パネル
2013

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 Gallery PARC Art Competition 2014 #02

時を泳ぐ人:むらたちひろ

出品作家 むらたちひろ 【<http://murata-chihiro.tumblr.com/>】

会期 2014年7月15日(火) — 7月27日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・金曜のみ20:00まで開廊・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【染織】

ギャラリー・パルク主催の公募展「Gallery PARC Art Competition 2014」の採択展覧会として3連続で開催する展覧会の第二弾。

2011年に京都市立芸術大学大学院工芸専攻修士課程を修了したむらたちひろによる個展。おもに「水」からのイメージを染織の技法により描き出し、絵画と染織の狭間にカタチを定めない流動的な世界を出現させる。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル
【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 <http://www.galleryparc.com>

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

時を泳ぐ人

むらたちひろ

murata chihiro exhibition

2014年7月15日[火] — 7月27日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像03】 むらたちひろ《unchained times #02》

150×180cm

木綿・染料・パペル

2013

川を泳ぐ。

わたしが泳ぐよりも強い力で川の流れるは変わるから流されないよう、上手く泳ぐ訓練をする。

海を泳ぐ。

延々続く海原で、ずっと先を泳いでいた人が泳ぐのを止め、浮き輪で漂い始めた。

プールを泳ぐ。せーので飛び込んだ彼女のレーンは25mで、私のレーンはまだ続いている。

ただそれだけのこと。

記憶、空想、勘違い。目に見えるものよりも強く影響されることがあります。

現れては消えるそれらを都合よく解釈して生きている私は、いったい何を見ているのでしょうか。

むらた ちひろ

時を泳ぐ人

むらたちひろ

murata chihiro exhibition

2014年7月15日[火] — 7月27日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

むらた ちひろ

1986 京都生まれ

2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻修士課程修了

2013

「染+ -わたしにまつわるそめのはなし-」(清流館/ 京都)

「第19回 染・清流展」(清流館/ 京都)

「八重の桜にちなんで ハンサムウーマン19 パワフルな女性作家たち」

(清流館/ 京都)

2012

「紙技」(雅景錐/ 京都・時折/ 名古屋)

「ART AUCTION STORY vol.4」(関西日仏学館/ 京都)

「Kyoto Current 展」(京都市美術館別館/ 京都)

「Abend vol.1」(Gallery Ort Project/ 京都)

個展「水たまりアルバム」(Gallery Ort Project/ 京都)

内藤英治退任記念展「若手型染作家展」(京都芸大ギャラリー@KUCA/ 京都)

2011

「LOVE THE MATERIAL ITEMS XII」(pepper's gallery/ 東京)

「オープンスペース」(Gallery Ort Project / 京都)

受賞歴

2011 京都市立芸術大学制作展, 同窓会賞

2009 京都市立芸術大学制作展, 奨励賞



【広報画像04】

むらたちひろ《unchained times #03》

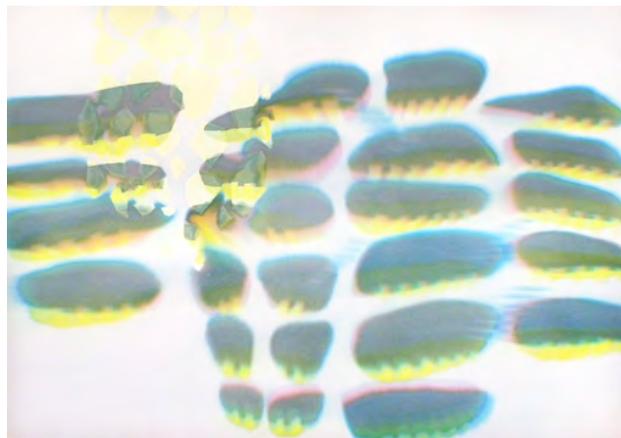
120×180cm 木綿・染料・パネル 2013



【広報画像05】

むらたちひろ《unchained times #04》

150×200cm 木綿・染料・パネル 2013



【広報画像06】

むらたちひろ《city lights》

2013